

(6 班) 11 有働拓馬 さん 玉名工業高等学校

「農業を継続させていくための取組について」

玉名工業高等学校 1 年、有働拓馬です。

私は玉名市の魅力である農産業を継続させていくために質問します。

私の祖父は農業で主にお米を作っていました。

しかし、3 ヶ月ほど前から祖父が体調を崩し、これ以上続けることが困難なため父が跡を継ぎ仕事と両立しながら農家をしています。

その際、父から「少しは頭に入れておいてほしい」と父に跡継ぎの話と米農家の現状について聞かされました。

皆さんご存知とは思いますが、現在、米の単価は今年を除き徐々に下がっており、加えて、農作業の労力や経費等が収益と見合っておらず、新規で始める人はおろか、跡取りすらままならないのが現状だそうです。

私の家は岱明の少し高いところにあり、国道 501 号線付近の田んぼ一帯が臨めます。

7 月上旬は、一面緑で眺めているだけで少し涼しい気分になります。

9 月頃になると一帯が黄金色になりとてもきれいです。私はこの美しい景色が大好きです。

しかしこのままでは、この田畑が無くなってしまわないかと思えます。

今後、どうやって農業を継続させていけるのかわかりません。玉名市において農業を継続させるための、取り組みはありますか。教えてください。以上です。

●資料(写真)

答弁者:産業経済部長

玉名工業高等学校 有働 拓馬議員ご質問の「農業を継続させていくための取組について」お答えいたします。本市農業の持続化に向け、現在の市が取り組んでいる重要かつ不可欠なものを大きく3つに分けお答えします。

1 点目が、「農地や水路、農道等の生産基盤の整備」です。この取組としては、農作物の生産性と農作業の効率性を向上させるうえでの大型機械の導入や省力化への対応として、狭く不整形で点在する農地の面的な集約化と大区画化をはじめ、水管理や作物運搬を容易にするための水路や農道等の農業基盤を順次整備しているところです。この取組により、米・麦以外にもハウス施設でのトマトやイチゴ等高収益作物も栽培可能となり、農業生産性も増し、所得の向上が期待されます。農業を続けていくにあたり、大変重要な農地、農道及び水路等の生産基盤の整備には多額な事業費を伴いますが、将来にわたり優良な農地で永続的に営農できるよう今後も農家の視点に立ち取り組んでいくこととします。

2点目が「将来の担い手の育成と確保」です。この取組としては、全国的にも深刻な課題である農業後継者等の担い手不足を背景に、将来の地域農業を守る担い手確保とその育成に向け、新規就農者に対する就農直後の不安定な経営を支援するための国からの経営開始資金の交付をはじめ、経営規模を拡大するための農地の集積・集約化、更には耕作放棄地の解消に対する取組にも市独自の補助金を交付し推進しているところとあります。また就農前後における農業経営上のご相談等に対しても、県等関係機関と連携し適宜対応するなど農家に寄り添った幅広い支援を行っているところでもあります。

3点目が「農業の収益性と生産性の向上」です。この取組としては、国や県の補助事業を活用した風速50メートルにも耐え得る耐候性ハウスや出荷まで十分な品質管理ができる集出荷貯蔵施設の整備をはじめ、市独自の補助事業である省力化・効率化するためのトラクターやドローン等農業機械やハウス環境制御システムなどの導入を支援しているところとあります。このことにより、生産コストの削減以外にも生産力がより高められ農業所得の向上を目指すこととしています。

この他にもコロナ禍における本市の対策として、下落した米価に対する価格補填事業、加えて未だ続く物価高騰の対策として、生産資材として不可欠な各種燃油の価格補填をはじめ、畜産飼料や農業用ビニールの購入支援等の様々な取組を積極的に展開し、農業経営の持続化・安定化を図ってきたところでもあります。

これらの取組は、その時々々の状況に即した形で必要な見直しを加えながら今後も継続していくこととします。また、環境負荷に配慮した農業の実践として、有機農業の推進、化学農薬や化学肥料の使用量削減等による環境保全、更には玉名産の安心安全な農作物の販路拡大や地産地消の推進にも引き続き取り組んでいくこととします。

最後になりますが、この本市の将来を引き継いでいただく若い皆さんが、全国有数の産地でもある玉名の農業は「将来性のある稼げる職業」として、少しでも魅力を感じていただき、この先就職を考える際に選択肢のひとつになればと願っています。

【資料】

